



学校だよりの

あさひ

令和4年12月19日(月)
令和4年度 第8号
阿見町立あさひ小学校

(文責 宮崎 智彦)

6年生、宿泊学習で大切な思い出づくり！

6年生の宿泊学習を、11月1日(火)、2日(水)1泊2日で県立中央青年の家において実施しました。新型コロナウイルス感染症の影響で、これまで実施を見合わせていた宿泊学習ですが、今年度はようやく実施することができました。勾玉作りや野外炊飯、キャンドルサービス等を通し、友達との大切な思い出づくりをすることができました。以下は、各学級の児童の感想文です。

「たくさん学んだ宿泊学習」 6年1組 木村 優那

ずっと待ちに待っていた宿泊学習は、運良く、きれいな青空の下で開始しました。山の上では空気も空も澄んでいて、気持ち良かったです。

最初の活動は勾玉作りです。周りの友達と「難しいね」と言い合いながら作るのも楽しかったです。一日目の活動は、勾玉作りと山ビンゴの二つでした。意外と難しいところに隠れていたけれど、そのおかげでクラスメートと更に仲良くなれた気がします。夜はお風呂とご飯でドタバタしていて、「一日目がもうすぐ終わっちゃう。もっと今日が続けばいいのに…」とも思いました。キャンドルサービスでフォークダンスをしていた時も、二日目に野外炊飯をしている時も、この宿泊学習の思い出は、一生の宝物にしようと思いました。

学校では見られない、友達の意外な一面にも気付いて、コミュニケーションの取り方、相手とのちょうどいい距離感を学べて、今回の宿泊学習は、今後の生活でとても役に立つと思います。

「楽しかった宿泊学習」 6年2組 八木 穂乃花

「紅葉がきれいな山だな…」

11月1日から2日にかけて、中央青年の家で宿泊学習がありました。初日が勾玉作りをしました。ただ勾玉の形になるようにけずればいいのかと思っていたのに、くぼみが難しく、苦戦しました。やすりで丸みを出すようにけずること20分ぐらいで、つるつるの勾玉になりました。

二日目の朝、窓から空を見ていたら、霧がかかって町が真っ白になっていて驚きました。カレー作りでは、カレーを作る人どうして分担してカレーを作りました。出番のない時に食器洗いなどを行って、すぐに作れるようにしました。

この宿泊学習を通して、決めた分担以外でできることは進んでやることの大切さを学びました。また友達と宿泊学習に行きたいと思いました。

「小学校生活最大の思い出」 6年3組 長南 莉咲

私は、小学校生活最初で最後の宿泊学習で、たくさんの思い出ができました。

一日目は、勾玉作り、山ビンゴ、キャンドルサービスなどを行いました。山ビンゴでは、班の人と協力して、たくさんの看板を見つけることができ、他の班の人とも交流があって、とても楽しかったです。キャンドルサービスでは、真っ暗な体育館の中で光るろうそくの灯りがとても神秘的で美しかったです。みんなでろうそくを囲んで踊ったフォークダンスは思い出深いものとなりました。また、その後にみんなで食べた夜食も新鮮でした。

二日目は、野外炊飯を行いました。初めて飯ごう炊飯でご飯を炊きました。水の量を少し間違えてしまい、ご飯がやわらかくなってしまいましたが、みんなで食べたカレーライスはとてもおいしかったです。また九人で泊まった大部屋はとても広く快適でした。

二日間の宿泊学習を通して、寝食を共にし、更に友情が深まったと思いました。もう二度とできない経験を、このメンバーであることができ、本当に良かったです。

*裏面に集合写真があります。



<6年1組>

集合写真



<6年2組>

集合写真



<6年3組>

集合写真

